

薬用作物栽培試験

○センキュウ作物残留試験

1. 目的

本試験は、センキュウのべと病に効果のある殺菌剤候補について一次スクリーニング試験を実施した。尚、本試験は 2020 年度からの継続で 2 例目の試験となる。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 試験方法

2020 年秋に定植したセンキュウほ場（22m×0.66m×4 畝）に 1 区画あたり 5.28m²（2m×0.66m×4 畝）の試験区を 4 つ設けた。4 種類の殺菌剤を用意し、1 種類ずつ各試験区に散布した。散布日程および濃度については表 1 参照。

表 1. 試験設定

薬剤	散布日	回数	倍率	収穫日
殺菌剤 A	10/7, 10/14	2	1,000	10/28
殺菌剤 B	10/7, 10/14, 10/21	3	2,000	10/28
殺菌剤 C	10/7, 10/14, 10/21	3	500	10/28
殺菌剤 D	10/7, 10/14, 10/21	3	1,000	10/28

4. 試験結果

表 2 に準ずる。

表 2. 作物残留測定結果

薬剤	収穫前日数	測定対象成分	測定値(ppm)
殺菌剤 A	14 日前	a	0.02
殺菌剤 A	14 日前	b	N.D.
殺菌剤 B	7 日前	c	3.10
殺菌剤 C	7 日前	d	N.D.
殺菌剤 D	7 日前	e	2.90

○ナイモウオウギ薬効薬害試験

1. 目的

本試験は、ナイモウオウギの殺虫剤登録拡大を目的として実施した。尚、本試験は2020年度からの継続で2例目の試験となる。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 試験方法

2020年春に播種したナイモウオウギほ場（22m×0.66m×8 畝）に1区画あたり5.28m²（2m×0.66m×4 畝）の試験区を設け、ふ化直前のヨトウムシ卵を接種後、ヨトウムシの発生を確認し殺虫剤を散布した。

4. 試験結果

北海道総合研究機構十勝農業試験場の調査結果に基づき、薬効・薬害ともに問題なしであった。作物残留に関しては、他産地での試験にて最大0.02 ppm 検出された（下記表参考）。

表. 散布薬剤のナイモウオウギへの残留

散布回数	濃度	収穫前日数	測定値(ppm)
2	2,000 倍	13	0.02
		6	0.02
		2	N.D.

○トウキ作物残留試験

1. 目的

本試験は、トウキにおいて登録となったプレバソフロアブル5の作物残留性の確認を目的として実施した。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 試験方法

2020年秋に定植したトウキほ場（22m×0.66m×4畝）に10.66m²（6m×0.66m×4畝）の試験区を設け、プレバソフロアブル5を表1の通りに散布した。

表1. 試験設定

薬剤	散布日	回数	倍率	収穫日
プレバソフロアブル5	8/30, 9/6, 9/13, 9/20	4	2,000	11/17

4. 試験結果

表2に準ずる。

表2. 作物残留測定結果

薬剤	成分	散布回数	濃度	収穫前日数	測定値 (ppm)
プレバソ フロアブル5	クロラントラニ リプロール	4	2,000倍	28日前	0.04
				14日前	0.06
				7日前	0.05